

令和5年度上大久保中学校だより

上中だより

第10号

令和6年2月1日(木)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL.855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

「きっかけ」

校長 ^{たかく}高久 ^{まさゆき}正行

能登半島地震の発生から1か月が経ちました。連日報道されている様子を見ても、被災地の状況は依然厳しい状況が続いています。改めて被災された皆様に対してお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興・復旧をお祈りいたします。本校でも、生徒会主催の募金活動を実施いたしました。ご協力いただきました多くの皆様へ感謝申し上げます。

1月は、1年生東京校外学習、2年南郷自然の教室、3年私立高校入試が行われるなど、行事が盛りだくさんでした。特に、1・2年生の校外学習は大成功だったとのことで、ぜひこの経験を次年度の活動に活かしてもらえたらと思います。また、3年生は、いよいよ県公立高校学力検査まで3週間を切りました。最後まで志高く自分の目標に向けて努力を重ねてくれることを願っています。

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」という言葉があります。これは、正月から3月までは行事が多く、あっという間に過ぎ去ってしまうことを調子よく言ったものだそうです。折しも、2月3日(土)に節分、2月4日に立春を迎えます。旧暦で節分は立春の1日前で大晦日を意味し、立春は1年のスタートで、この日から春の始まりともされています。節分では、1年の終わりに、いやなことや苦しかったことを払いのけ、来年は良い年であるようにという願いを込めて、「鬼は外」「福は内」と言って豆をまくわけですが、このような日本の伝統文化にも触れることで、生徒たちには改めて現状の認識とこれからについて考えていってもらいたいものです。

さて、今年2024年は閏年(うるうどし)ですので、2月は29日までであるわけですが、自分の場合、閏年と聞くとすぐに「オリンピックイヤー」と文字が頭に浮かびます。7月のパリオリンピックに向けた日本選手団の代表選考大会が各競技で行われており、先日も、女子レスリングの尾崎野乃香選手の試合終了まで10秒を切ったからの逆転勝利、卓球シングルの平野美宇選手の代表内定などが報道されていました。中でも一番の驚きは、大阪国際女子マラソンで日本新記録(2時間18分59秒)を出して2位に入った前田穂南選手です。自分の目標を「アレ」という言葉で表現し、レース終了後まで一切明かしていませんでした。マラソン代表残り1枠に入るための設定タイム(2時間21分41秒)の突破を目標としていたのだらうと思いきや、「アレ」は日本記録(2時間19分12秒)の更新だったと聞き、本当に目が点になってしまいました・・・大会後の各選手のコメント【尾崎選手：自分の形を崩さずに自分の攻めのレスリングを貫く考えでやってきた 平野選手：自分の人生を自分でコントロールすることを意識した。やるかやらないかではなく、やるかやるかだ 前田選手：自分の力を出し切って記録を出せてうれしい】からは、我々が想像もつかないくらい努力を日々重ねてきたこと、その努力の積み重ねが自信につながっていたことがうかがわれます。加えて、彼女たちの次の目標はすでに世界に向いていることがまたすごいと思います。

もう一つ触れたい話題が、1月20日の無人の月探査機「SLIM(スリム)」による日本初の月面着陸です。着陸目標地点からわずか55メートルのピンポイント着陸の成功は十分世界に誇れる成果だと思います。この着陸の瞬間を撮影したのが、月面探査ロボット「SORA-Q(ソラキュー)」で、おもちゃメーカー「タカラトミー」の技術を活かした変形するロボットでした。プロジェクトリーダーの方は、「SORAは“宇宙の空”。Qは“クエスチョン”という意味。(子どもたちに)宇宙に対して疑問を持ってほしい。宇宙の素晴らしさ、面白さ、そこへの挑戦の醍醐味を伝えていくことが使命ではないかと思っています」と仰っていました。

このように、私たちの周りには参考になったり前向きな気持ちにさせてくれたりする様々な「きっかけ」がたくさんあると思います。そのような「きっかけ」に多く触れることで、少しでも生徒たちが刺激を受け、自分自身の「現状の認識とこれからについて」考えてくれると嬉しい限りです。



自動花粉観測機を設置しました!!

さいたま市健康科学研究センターの協力のもと、自動花粉観測器を校内に設置しました。この観測機で得られたリアルタイムの花粉情報をウエザーニュースのサイトでご覧いただくことができます。今後の花粉症対策にご活用ください。本校ホームページにウエザーニュースのサイトに入れるリンクを掲載していますので、一度試してみてください。なお、この観測機のことをお知りになりたい場合は、さいたま市健康科学研究センター「サイエンスなび」を検索の上、ご覧ください。